

「食肉の生食による食中毒専門委員会」検討経緯

1 目的

食肉を生で食べたことが原因の食中毒が多く発生していることから、食中毒を減少させるために、食肉を生で食べることのリスクを周知するためのより効果的な普及啓発の方策を検討する。

2 検討内容

- (1) 食肉を生で食べることが原因の食中毒の発生状況
- (2) 消費者及び事業者の食肉を生で食べることに関する行動実態と課題
- (3) 食肉の生食のリスクを周知するためのより効果的な普及啓発

3 検討経過(委員会開催状況)

開催日	会議名	検討内容等
平成 20 年 7 月 23 日	平成 20 年度第 2 回食品安全情報評価委員会	「食肉の生食が原因と考えられる食中毒の予防」を検討課題に選定
平成 20 年 10 月 7 日	第 1 回食肉の生食による食中毒専門委員会	検討の対象とする食中毒菌と食肉の種類の設定、委託調査の概要の検討
平成 21 年 1 月 21 日	第 2 回食肉の生食による食中毒専門委員会	カンピロバクター及び腸管出血性大腸菌について効果的な情報提供に資するリスク情報を検討、委託調査内容の検討
平成 21 年 4 月 30 日	第 3 回食肉の生食による食中毒専門委員会	委託調査結果を反映した効果的な普及啓発の検討
平成 21 年 6 月 9 日	第 4 回食肉の生食による食中毒専門委員会	中間とりまとめ(案)の検討
平成 21 年 7 月 29 日	平成 21 年度第 1 回食品安全情報評価委員会	中間とりまとめ
平成 21 年 8 月 19 日	第 5 回食肉の生食による食中毒専門委員会	最終報告(案)の検討
平成 21 年 9 月 30 日	平成 21 年度第 2 回食品安全情報評価委員会	最終報告

食肉の生食による食中毒専門委員会委員名簿

(五十音順・敬称略)

	氏名	所属等
	磯田 孝義	東京都食鳥肉販売業生活衛生同業組合理事長
	伊藤 武	麻布大学客員教授
	牛島 廣治	東京大学名誉教授
	小久保 彌太郎	(社)日本食品衛生協会技術参与
○	中村 明子	慶應義塾大学薬学部客員教授
	藤野 雅彦	東京都料理生活衛生同業組合理事長
	堀口 逸子	順天堂大学医学部助教
	村上 紀子	食生活ジャーナリスト

○：座長